楽しさの中から未来へ！ — 東京支部での教育事業 —

茨木 久 Hisashi Ibaraki NTT サービスエボリューション研究所

1 まえがき

理科離れ、理工系離れと言われ始めてから久しい。科学に対する子供の興味・関心が低下し、若者の進路選択でも理工系離れが起きていると指摘されている。科学技術が高度に発達した現代に育った若者は、科学技術の成果を利用はするが、科学自体への興味や関心は少なく、科学に携わろうとはしないとも言われている。

しかしながら、子供はどれも科学が好きであるように見える。「やったことがないことができた」、「実験が楽しかった」。先日開催された教育イベントでの代表的な参加者コメントであるが、今まで経験してないことに接し、素朴な疑問が生まれ、何かをやり遂げたことの喜びを素直に表している。「どうして？」と疑問を持ち、「どうしてだと思う？」と誘ったりして科学への興味の第一歩を踏み出し、その疑問と一緒に調べ、また「言葉」だけでなく「体感」することで知識となる。共に科学を楽しむ仲間がいれば、更に楽しみは深まり、議論することでオリジナリティも生まれてくるかもしれない。科学技術に対する情報の入手方法、特に日本は英米に比べ科学コミュニケーションの場が少ないとの指摘もあるなか、子供が科学に接する機会を与えることが重要ではないだろうか。

電子情報通信学会では、平成8年度から「小・中・高校生の科学実験教室」を開始し、平成18年4月には教育活動協議会が発足、その下に「小・中・高生科学教室委員会」が設立され、科学に興味を持つ子供を育成することを目的として科学教室を継続開催している⁽¹⁾。東京支部でも教育事業に取り組むことが重要と考え積極的に進めており、以降東京支部における子供向け教育事業の活動概要を紹介する。

2 活動形態

東京支部では、電子工学、情報通信に関する学問、技術、関連事業の振興に寄与する観点から、地域、産業界、

学生との接点強化を目指した各種活動を実施している。その中で教育事業にも積極的に取り組んでいる。

活動の実施形態については、

- (a) 支部による主催
- (b) 他団体・機関などの企画との共催、協賛、後援
- (c) 公募教育イベント

などと幅広く、大学研究室など多数の方々の協力を頂きながら柔軟に実施している。

内容として、最近は特に小学生など子供を対象とした教育イベントも多くなり、支部主催イベントでは担当の支部委員に工夫をお願いし、実験や実習を含め、分かりやすく楽しめる企画として進めている。

3 実施状況

平成24年度には科学への興味を持ってもらうことを目的に、ラジオ、マイク、地デジアンテナ、カメラ付きペットボトルロケット、光糸電話などの製作を体験しながら科学に接する、以下の子供向け教育事業に取り組んだ。

- (a) 支部イベント（主催、共催、後援など）

- (1) 「科学で面白い！ 作るって面白い！ 皆で面白い！」

- (2) 「地デジアンテナを作ろう」

- (3) 「遊びの中のアハ体験」

- (4) 「ペットボトルロケット製作教室」

- (b) 公募教育イベント（公募）

- (1) 「子供ラジオ作りチャレンジ教室」

- (2) 「ものづくり教室」

- (3) 「子供向け科学教室」

各イベントとも保護者を含めて多数の参加を頂き、「楽しかった！」、「また参加したい！」などのコメントを頂けた。また平成25年度も同様の事業に積極的に取り組んでいる。

4 むすび

東京支部の教育事業は、学校関係者、企業やボランティアを含め大勢の皆様の御協力により支えられ運営させて頂いている。この場をお借りして御協力頂いた皆様に感謝申し上げる。

教育事業は単に参加した子供たちだけでなく、運営者側にも新たな気づきや喜びを感じるよい機会になると考えている。支部として今後も同関連事業を継続実施していきたい。

■文献

- (1) 電子情報通信学会小中高生科学教室委員会，“科学

の楽しさ、み～つけた！ 小・中・高生の科学教室の現場から,” 信学通誌, no.4, pp.53-54, March 2008.

茨木 久 (正員：シニア会員)

1984 日本電信電話公社 (現 NTT) 入社, 横須賀電気通信研究所入所。以来, 中間調ファクシミリ画像処理, 静止画像・動画像符号化の研究, 通信機器の開発等に従事し, 現在, コンテンツ流通, ライフサポート, 行動支援ポータルサービスなどに関わる研究開発のマネージメントを担当。2012 年 7 月から NTT サービスエボリューション研究所, 所長。